

令和6年度 第3回 南河内地域2町1村未来協議会 議事概要

【日時】令和7年3月26日（水）15：30～16：40

【場所】千早赤阪村くすのきホール2階第1・第2会議室

【出席者】田中太子町長 森田河南町長 菊井千早赤阪村長 城間大阪府総務部市町村局長

■議事概要

●各テーマの検討状況を確認し、今後の方向性について以下のとおり確認・合意した。

- ・令和7年度は、近隣市の協力を得ながら、近隣市を含む市町村合併について引き続き検討していくとともに、市町村合併の調整コストについても、こういった課題があるか、調査検討していく。
- ・単独での取組や広域連携については、令和6年度までの検討内容を踏まえ、引き続き検討を行い、課題を先送りせず取り組めるところから速やかに実施していく。
- ・未来協議会の取組や協議内容にかかる広報を強化するとともに、住民アンケート等を継続して実施していくことで、将来のあり方に関するオープンな議論を引き続き行っていく。

■出席者発言

●府市町村局長：

本協議会は令和5年度からスタートし、これまで行財政改革、公民連携、さらなる広域連携、選択肢の一つとして市町村合併についても検討してきた。令和6年度は、広域連携について実施できる取組から実施していくとともに、合併部会を設置して調査検討をしてきた。

本日は今年度の取組について忌憚のない意見を頂戴し、今年度のとりまとめとしたい。とりまとめた内容については、議会や住民の皆様にお示ししながら、将来のまちづくり・未来像についてのオープンな議論になるよう取り組んでいきたいので、よろしくお願いいたします。

昨年12月に開催した第2回協議会において、近隣市への参加の働きかけを検討することで合意し、府と2町1村の首長様で近隣市の市長様に本協議会の説明を行うとともに、今後のご協力をお願いした。今後、どういったかたちで次の協議会ができるのか、現在調整している。参画いただいた場合は、参画団体と調整しながら、例えば技術職員をはじめとする人材の確保や交流、地域資源を活用した魅力づくりといった地域活性化の取組、事務の委託や共同処理の検討、市町村合併を検討するための調査研究などに取り組んでいきたい。また、採用試験の共同実施や事務の共通化・共同化、公共施設の最適配置、住民理解の促進に向けた広報やアンケートなど、すでに実施している取組や検討を開始しているものについては、本協議会において引き続き同じ方向を向いて取り組んでいきたい。

（令和6年度の調査検討の取組と今後の方向性について）

●太子町長：

これまで将来のあり方について真剣に議論しようということで、いかに住民サービスを維持していくか、新たな費用負担を求めずにそれをどう実現していくのかという思いで取り組んできた。その中で合併についても様々な角度から検討し、一定程度の効果が見込めた。また、ある程度予測できたことではあるが、人口規模が大きいほど効果も大きいということも今回示していただき、確認できた。2町1

村だけではなく、近隣市を巻き込んだ議論も当然必要であるという認識を新たにした。

将来に向けて議論することは、若い世代に対する責務であると思っているので、府の協力を得ながらしっかりやっていきたい。またそれと同時にすぐに取り組めることについてもしっかりと組みたい。住民アンケートの中では若い人のご意見が少ないということで、将来を担う若者の意見を聞く機会があってもいいのかなと思っている。

●河南町長：

人口減少・少子高齢化が進むという未来予測を基にして、将来どうあるべきかを検討し、職員の採用試験やサイクリングイベントの共同実施などの連携強化を図ってきた点は評価できている。

人口規模に応じたシミュレーションをしているが、それらを含めて広く住民にお知らせしていくことが大事。様々な選択肢がある中で、今回検討した広域連携や合併の効果などを一つの判断材料として公表していくことが必要だと思う。今後はそれらを含めて様々なケースを検討していければいい。

●千早赤阪村長：

今年度、合併部会を設置して将来のあり方について検討し、それぞれ長所・短所はあるが、2町1村の将来のあり方として市町村合併が有力な候補であることが認識できた。またその中で規模の大きい合併であれば、より効果も出てくるということもわかった。本村の場合は、人口減少・高齢化・財政状況も厳しい中で、将来にわたって村民の暮らしを守り、この地域を発展・成長させるにはどういった選択肢があるのかということが非常に重要。メリット・デメリットを明らかにしながらしっかり議論や判断をしていく必要があると認識している。規模の大きい合併のほうが効果が大きいと見込まれることから、近隣市とも協力しながら様々な議論・検討をしていきたい。

また、広域連携も必要であることから、喫緊の課題である人材の確保や基幹系業務システムの標準化対応などの様々な課題について、2町1村で有意義な取組が進められるよう同じ方向を向いて議論させてもらいたいので、よろしく。

（住民理解促進・住民アンケート等の取組と今後の方向性について）

●太子町長：

住民アンケートについては、若い方の回答が少ないため、もう少し若い方の意見を聞けたらいいと思っている。先週太子町でタウンミーティングを行い、本協議会において合併についても選択肢の一つとして協議しているということを説明した。様々な意見の住民がおられるということは十分承知しているが、その後の自由討論でもそれに対する意見がなかったことから、かつて合併協議が破綻した頃から比べると住民の意識にも多少は変化が見られるのかなと感じている。最終的には住民の判断になるので、より丁寧に住民への説明を進めていきたい。

●河南町長：

住民の理解促進には情報発信が必要で、様々なケースをシミュレーションして、これからどうなっていくのかということの実感を持っていただく必要性が大きいと思っている。様々な人口規模で合併の効果のシミュレーションをしたが、効果の幅は相当広い。大きい枠組みで合併するほうが住民サービスの

維持・向上に回す財源が生まれてくるということもあるので、そういう点を踏まえて今後考えていく必要があると思っている。一つの方法として合併するとうなるというような議論がなされ、住民に選択いただくための様々なデータを発信・提供していくことが必要。

●千早赤阪村長：

2町1村で統一した内容で広報紙やLINEでの発信を行い、住民アンケートも幅広い年齢層の方に回答いただき、大変貴重なご意見をいただけたと考えている。千早赤阪村では9割以上の方が人口減少を実感しているということで太子町・河南町よりも高く、不安に感じておられる方が多いということがアンケートに出てきている。村では本協議会への評価が非常に高い。今後、協議内容を積極的にPRするなど、広報と住民アンケートを継続していくことが必要であり、我々行政だけではなく、住民の方々とともに将来のあり方を考えていく必要があると改めて感じている。また、太子町長がおっしゃったように今後若い世代をターゲットする広報戦略をとっていかなければならないと考えている。今後も積極的に広報・アンケートに取り組んでまいりたいので、よろしく。

●府市町村局長：

今ご意見をいただき、資料にまとめた今年度のとりまとめと今後の方向性についてご賛同いただけたと認識している。今後、本協議会でさらに詳細な検討に移り、住民の方が安心安全に暮らし、住民サービスを向上させるための基礎自治機能の充実強化、行財政基盤の強化によってこの地域の成長・発展につながるように様々な意見を交わしたい。また本協議会を超えて近隣市への協力を求め、近隣市が積極的に参加できるように働きかけたいと考えている。積極的に参加いただける市については、ぜひ一緒になって将来の南河内全体のあり方について検討したい。本協議会がこれからも発展できるように大阪府・太子町・河南町・千早赤阪村で協力して進めてまいりたいので、よろしく。